

東京農業大学稲花小学校

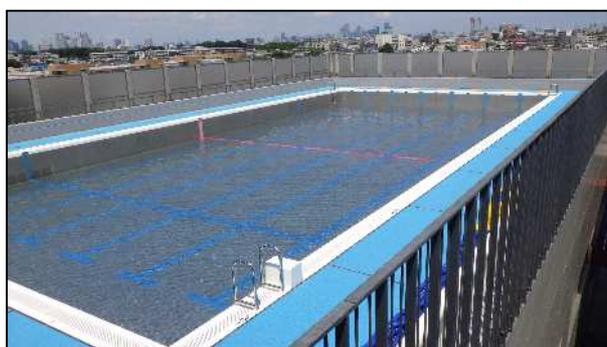
学校だより【2022年6月20日】第128号



水泳授業、いよいよ再開

新型コロナウイルス感染防止の観点から、2年間にわたって中止となっていた水泳の授業。今年ようやく再開です。安全な水泳のために、教員も打ち合わせを重ねてきました。しばらく使っていなかったプールも一度水抜きし、清掃を行って、再びきれいな水を満たす作業が行われました。6月13日(月)には再びきれいな水がほぼ満たされている様子が見られ、いよいよ水泳授業再開という感を強くしました。

熱中症と新型コロナウイルス感染症の両方に注意しながらの水泳授業です。保護者の皆様には、健康観察や検温、そして水着他の準備等、様々なご協力をお願いしています。回数も限られる中ですが、6月20日(月)から始まる水泳の授業について、安全に楽しく行われている様子を、子どもたちからお聞きになってみてください。



3年生は遠足へ

6月14日(火)、農大稲花小の3年生は遠足のため、バスで東京都文京区にある東京大学大学院理学系研究科附属植物園(以下、小石川植物園)に向かいました。植物園について事前学習も十分な子どもたちは、簡単な地図を片手に、6人編成の班ごとに、園内を散策しました。歩いている亀に気を取られて予定通りに回れなかった班、地図を見ながらどちらの方向に歩くかで意見が分かれてしまった班などもありましたが、概ねは仲良く、力を合わせている様子に3年生の成長を実感しました。天気が心配されましたが、都心とは思えない豊かな自然がいっぱいの園内の草地でお弁当を広げることもできました。

その後、再びバスに乗り、千代田区にある科学技術館を訪問しました。こちらにも班ごとに興味のある展示を見て回りました。他の小学校からの見学者も多い科学技術館ですので、本校の子どもたちのマナーを心配していましたが、こちらにも立派なもので、うれしく思いました。少し時間が短めで、もう少し見ていたかったという子どももいたと思いますが、無事に帰校し、下校となりました。

小石川植物園は季節ごとに違う風景が見られ、多くの発見のある植物園です。科学技術館も、小学生には興味深い展示が多くあります。今度はゆっくりと、ご家族での再訪もお勧めです。そのときはきっと、子どもたちが自信をもって案内をしてくれることと思います。

小石川植物園：<https://www.bg.s.u-tokyo.ac.jp/koishikawa/>

科学技術館：<https://www.jsf.or.jp/>

2年生は小田急線経堂駅へ

6月2日(木)、2年生の稲花タイムは「鉄道教室」として、小田急電鉄の方々にロマンスカーや通勤車両などの電車の種類、鉄道の仕事や設備、鉄道を利用するときのマナーやルールなどについて教えていただきました。昨年に続き、2度目の授業です。オンラインで配信される鉄道の画像などに、多くの子どもたちが引き込まれ、また小田急電鉄に関わるクイズにも真剣に答えていました。公共交通を使って通学する子どもたちの多い本校です。鉄道に関わる方々と接する機会は、自分たちの通学のマナーを考える機会にもなったと思います。

6月16日(木)、今度は2年生が小田急線経堂駅を見学させていただきました。業務ご多忙の中、グループごとに駅の中を見学するという、貴重な機会をいただいたのです。券売機を裏側からみて発券の仕組みを教えていただいたり、指令室で信号の色が次々と変わり、監視カメラにホームに入って来る列車が映る様子を見たり、さらには、24時間勤務してから交代するという駅員さんの仮眠室まで見せていただきました。ホームでは、列車の出発に合わせて駅員さんが旗を振り安全確認をする様子を見たり、非常停止ボタンや緊急連絡用インターホンなどについて学んだりしました。鉄道が好きな子どもたちが多い中、鉄道への興味・関心だけでなく、たくさんの人たちの安全を守り、責任感をもって正確に鉄道を運行する鉄道マン・鉄道ウーマンの仕事を理解する契機となったようです。こうして子どもたちは、「仕事とは何か」を学んでいくにちがいません。



小田急電鉄：<https://www.odakyu.jp/>

来年は北海道オホーツクキャンパスへ

農大稲花小の最上級生(1期生)は現在まだ4年生です。1期生が5年生になったら、東京農業大学北海道オホーツクキャンパスへの訪問を計画しています。6月16日(木)にはこのお願いをするために、北海道オホーツクキャンパス4学科の先生方とオンラインでの打ち合わせをしました。先生方も大学生への授業や実習で大忙しの中、本校児童の受け入れについて前向きに検討してくださっているということで、心強い限りでした。時期、宿泊、キャンパス訪問の内容など、これから打ち合わせが進みます。子どもたちに、北海道オホーツクキャンパスの魅力が伝わり、視野が大きく広がる訪問になることを期待しています。

北海道オホーツクキャンパス：<https://www.nodai.ac.jp/academics/bio/>

バーチャルキャンパス オホーツク

https://www.nodai.ac.jp/campus/map/okhotsk/virtual_okhotsk/

南米の蝶が舞う

農大稲花小では毎月、(一財)進化生物学研究所から昆虫標本を貸与していただき展示しています。6月のテーマは、南米の巨大な蝶です。その大きさには子どもたちだけでなく、教職員もびっくりしました。子どもからは「鳥も負けちゃうね」という声も聴きました。大きさに驚くだけでなく、細かい体のつくりや模様も、標本ならじっくりと観察できますね。



校長 夏秋 啓子